8.12 関数とプロシージャ

ストアドプロシージャは、データベースに関数を定義することができる。

8-12-1 関数とプロシージャの違い

スロアドプロシージャには、関数とプロシージャの2種類がある。 以降は、2つまとめて関数と呼ぶ。

8-12-2 関数定義

複数の戻り値を取る場合は、「SET OF」を付与する。

8-12-3 関数の構造

上記のテーブルにおける関数を作成する。

Query Editor Query History

```
1 create or replace function test_func(int, timestamp) returns integer as
2 $$
3 declare
    r timestamp;
5 result int := 0;
6
7 begin
8
     for r in select c2 from tbl3 where c1 = $1
     loop
9
10
      if r < $2
      then
11
      result := result + 1;
end if;
12
13
14
    end loop;
15
     return result;
16 end
17 $$
18 language plpgsql;
Data Output Explain Messages Notifications
```

CREATE FUNCTION

Query returned successfully in 154 msec.

関数定義で「OR REPLACE」があるので、関数を上書きする意味も持つ。 次に、timestamp型のrと、0を固定値としたresultを変数宣言している。 その後、Pythonでいうfor文(ifの条件を満たせば、result+1)の処理を行っている。